

Outshining
Light

第117期

中間レポート

2021年4月1日～2021年9月30日

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

証券コード:6923

生活の中で輝く スタンレーの「光」

(主な製品)

光の先駆者として、挑戦者として、
スタンレーの「光」は、より安全安心な社会を実現いたします。

A 自動車機器事業

ヘッドランプ(LED・HID・ハロゲン)
リアコンビネーションランプ
ターンシグナルランプ
フォグランプ
自動車用バルブ(LED・電球) 他

B コンポーネンツ事業

LED(紫外・可視光・赤外)
光センサー
液晶表示デバイス
UV-CCL(紫外線冷陰極管)
超小形電球 他

C 電子応用製品事業

LED照明(景観・道路等)
操作パネル
液晶用バックライトユニット
カメラ用ストロボ
車載用センサー
UV除菌製品 他

MOBILITY

安全で確実な移動のために



DAILY-LIFE

健やかで便利な暮らしのために



IMAGING

より鮮やかな映像のために



COMMUNICATION

お互いを理解するために





株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2021年9月30日をもって第117期の第2四半期決算を行いましたので、ここにご報告を申し上げます。

代表取締役社長 山田 隆 豊

一般的な営業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響により依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続きました。地域別の経済の状況は、中国では緩やかに回復し、日本、米国、欧州、アジアでは一部で感染症の影響

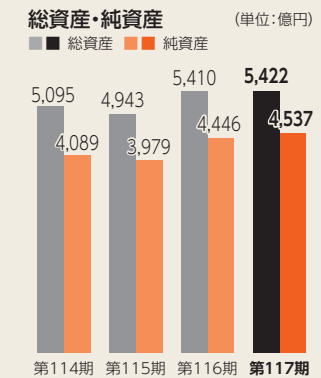
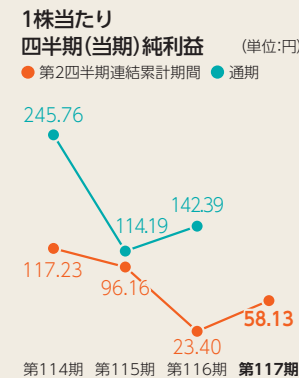
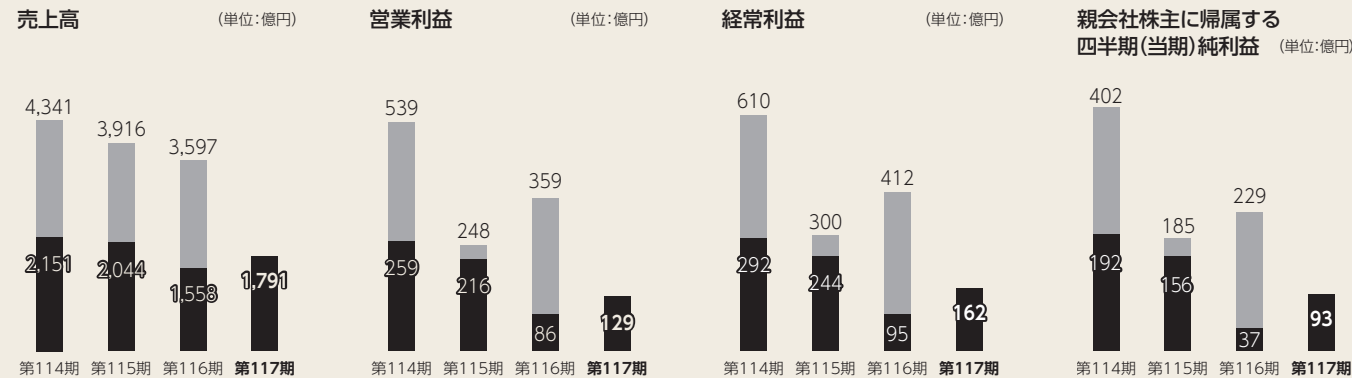
が残るものの、持ち直しの動きが続いています。

以上のような事業環境のもと、当社並びにグループ各社（以下、当社グループ）の業績は、感染症の影響が大きかった前会計累計期間（4月～9月）から回復してまいりましたが、当会計期間（7月～9月）において、世界的な半導体不足による自動車生産台数の減少、樹脂材料や部品等の調達費用高騰など市場環境が大きく変化した影響を受けました。

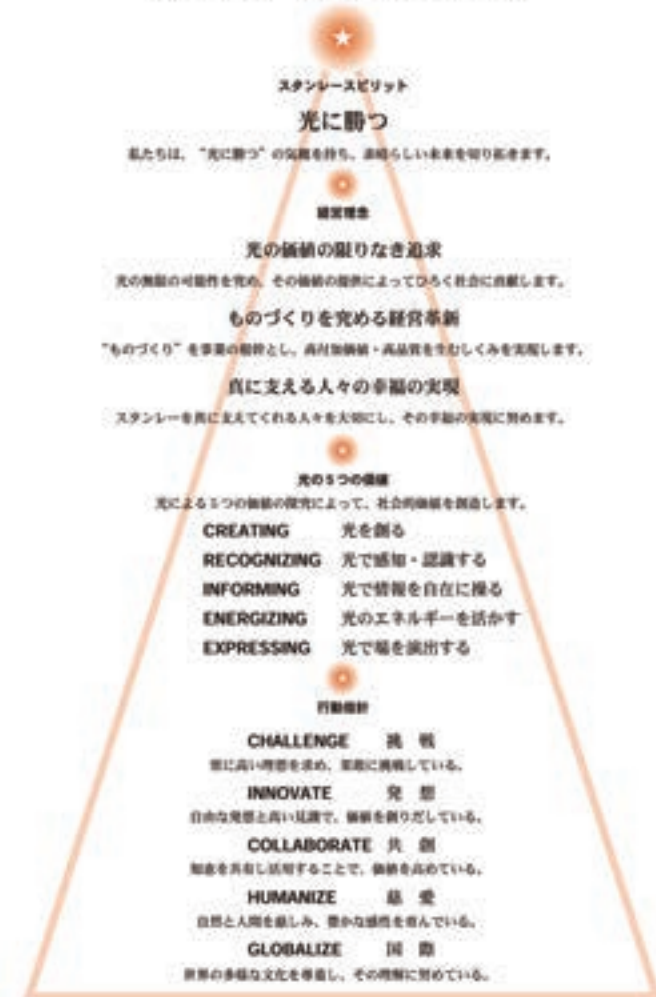
その結果、当第2四半期連結累計期間における、売上高は1,791億9百万円（前年同期比15.0%増）、営業利益は129億7千7百万円（前年同期比49.9%増）、経常利益は162億円（前年同期比70.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は93億3千4百万円（前年同期比147.6%増）となりました。なお、「収益認識に関する

連結財務ハイライト

■ 第2四半期連結累計期間 ■ 通期



スタンレーグループビジョン



スタンレーは、世界中のスタンレーグループで共有する基本的な価値観として、「スタンレーグループビジョン」を掲げています。私たちは、このビジョンのもとで、「光の価値」と「ものづくり」を徹底的に究め、真に必要なとされる価値を創造することで、広く社会に貢献します。

会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等の適用により、売上高は1億9千3百万円増加し、営業利益、経常利益はそれぞれ3千2百万円増加しております。

連結財政状態について

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,422億7千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億5千万円増加しております。要因は、固定資産が14億2千4百万円減少したものの、流動資産が26億7千5百万円増加したことによるものです。固定資産の減少は、投資その他の資産が減少したこと等によるものです。流動資産の増加は、受取手形及び売掛金が減少したものの、棚卸資産が増加したこと等によるものです。

負債は885億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億5百万円減少しております。主な要因は、支払手形及び買掛金が減少したこと等によるものです。

純資産は4,537億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ90億5千6百万円増加しております。主な要因は、その他の包括利益累計額が31億8千7百万円増加したこと及び、株主資本が53億2千2百万円増加したこと等によるものです。その他の包括利益累計額の増加は、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものです。また、株主資本の増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等によるものです。

連結業績予想について

当社を取り巻く環境として、自動車生産台数減少の主要因である世界的な半導体不足については、未だ解消時期の不透明な状況が続いております。加えて原油価格の高騰や物流コストの上昇、感染症による局所的なロックダウンなど、厳しい状況が予想されます。そのため、引き続き当社の主力である自動車関連製品に対して大きな影響が見込まれることから、現時点では業績予想の算定が非常に困難であります。

従いまして、2022年3月期通期の連結業績予想を未定とさせていただき、算定が可能になりました時点で改めて開示させていただきます。

配当の状況について

当社の配当金につきましては、安定した配当の維持及び適正な利益還元を基本としており、連結配当性向20%以上、自己株式の取得を含めた総還元性向は、連結で35%以上を目標としております。

当第2四半期末の配当金につきましては、2021年7月26日公表の1株当たり25円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集

スタンレー鶴岡 新工場竣工

LED製品などを製造する連結子会社である(株)スタンレー鶴岡製作所が、2021年4月に新工場を竣工いたしました。

新工場は、車載、環境、セキュリティ等、LEDの利用拡大が期待される市場に対して、新たな製品を提供し事業の拡大を図ることを目的とした最先端工場として建設しており、車載用エクステリアおよびインテリアLED光源を含む、今後の当社グループのコンポーネンツ事業を牽引していく光半導体デバイス製品(可視光、近紫外、深紫外、赤外)を生産いたします。

当社グループの生産拠点として、高水準・高品質・低コスト製品を提供し、さらなる得意先満足度の向上に努めてまいります。

工場概要

所在地	山形県鶴岡市渡前字大坪45
工場建屋	約17,700㎡
敷地面積	約58,200㎡



止まらない工場

非常用自家発電装置を設置し、電気が止まっても過半の生産ラインは3日間稼働を継続することができます。1mの床上げをし水害対策も実施しています。



非常用自家発電装置

生産革新(SNAP)のサイクルが回り続ける工場

幅約30m×奥行約110mのクリーンルームを無柱にし、レイアウト変更などの変化に対応できます。



柱の無いクリーンルーム

スマートファクトリー

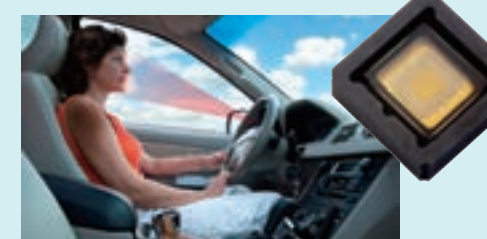
リアルタイムマネジメントを実現するため、通信を含めたシステム環境の確立を見据えた整備を行っております。

生産される製品の用途

● 監視カメラに使用される赤外LED



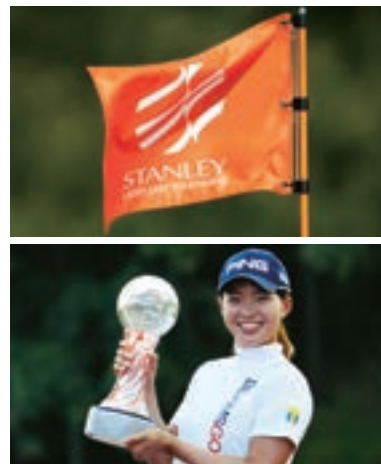
● DMS(ドライバーモニタリングシステム)に使用される赤外VCSEL



NEWS & TOPICS

静岡県裾野市「有功善行賞」受賞

当社は静岡県裾野市で開催しているスタンレーレディスゴルフトーナメントを通じてチャリティ活動を行っております。この度、2005年以来続けてきた開催地・裾野市への寄附行為が、健康文化都市事業に貢献し、市民福祉の向上に寄与したとして裾野市から「有功善行賞」が授与されました。今後も大会を通じて様々なチャリティ活動を行ってまいります。



2021年大会優勝・渋野日向子プロ

ホンダベトナム「最優秀サプライヤー賞」受賞

Vietnam Stanley Electric Co., Ltd. (以下VNS)はホンダベトナム様のサプライヤー全192社中からトップ1社に選定され、「最優秀サプライヤー賞」を受賞しました。

VNSの2020年度実績はQCDDすべての分野でサプライヤートップでした。コロナ禍中において多くのサプライヤーが混乱している中、VNSはQCDDについて一切の問題も無かった点が評価されました。



オンライン表彰式



- Q 品質
品質不良ゼロ
- C コスト
年次CD貢献
- D 納期
納入遅延ゼロ
- D 開発
開発品のCD貢献

日産自動車「グローバルオリティアワード」2年連続受賞

日産自動車株式会社様より、2020年度の当社品質に対する活動を評価いただき、内外装部品のカテゴリーにおいて、グローバルでの品質指標（サプライヤー・スコア・カード）がトップのサプライヤーとして「グローバルオリティアワード」を2年連続で受賞しました。

評価いただいたポイントは、搬入・市場での部品品質が良好であり、不具合発生が最も少なかったことです。2020年度に立ち上がった機種種の開発状況が良好であったことも加味されました。

過去3年間にわたり、国内外の拠点が連携して取り組んできた品質向上活動が実を結びました。



广汽乘用车・GS8に当社ヘッドランプ搭載

中国カーメーカー・广汽乘用车様のGS8に当社ヘッドランプが搭載されました。車のリモコンキーのON/OFF時の点灯に合わせて開閉するロービームシャッターを世界初搭載しました。デザインは、4眼ヘッドランプを先進的に進化させ、車両名「GS8」の8の字と滝をイメージしました。新規開発の小型ロービームユニット、薄型12セグメントADB*を搭載し、C-NCAP（中国の自動車安全評価プログラム）最高ランクである5スターの配光性能を実現しています。

今後も様々な企業とお取引できる魅力的な製品を開発してまいります。

※アダプティブ・ドライビング・ビーム。対向車や歩行者がまぶしくないよう、光を自動制御するハイビーム。



空気除菌脱臭機を発売

当社は自動車内や部屋の除菌と脱臭を同時に行う「空気除菌脱臭機」を発売しました。新型コロナウイルスの除菌に有効な波長265nm深紫外LEDを搭載し、15分で93.5%、30分で99.9%の菌・ウイルスを抑制します。また脱臭用光源として、チタン系光触媒と相性がよく脱臭効果の高い波長365nm UV-A LEDを搭載し、アセトアルデヒドを60分で95%、アンモニアを120分で80%分解します。ポータブルタイプ、フロアタイプ、デスクトップタイプの3種類から用途に合わせてご使用いただけます。

当社は車載製品で培った光学技術を強みに、今後も水や空気・表面の除菌製品を開発提案し、人々の生活に安全安心を提供してまいります。

▶ECサイトはこちら <https://stanley-onlinestore.com/>





Honda VEZEL

自動車機器事業

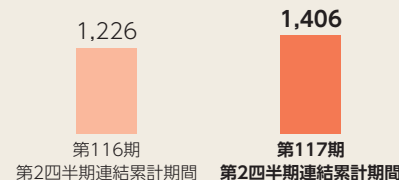
主な事業内容

- ヘッドランプ(LED・HID・ハロゲン)
- リアコンビネーションランプ
- ターンシグナルランプ
- フォグランプ
- 自動車用バルブ(LED・電球)

他

売上高 **1,406億5千9百万円**

売上高の推移(単位: 億円)



自動車生産台数は、中国では減少となったものの、日本、米州、欧州、アジアでは増加し、世界全体として増加しました。二輪車生産台数は、日本、米州、欧州、アジア、中国の世界全体で増加となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの自動車機器事業は、前会計累計期間から回復してまいりましたが、当会計期間において、半導体不足による自動車生産台数の減少、及び樹脂材料や部品等の調達費用が高騰した影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における自動車機器事業の売上高は1,406億5千9百万円(前年同期比14.7%増)、営業利益は45億5千7百万円(前年同期比76.7%増)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は1億3千4百万円増加し、営業利益は1千5百万円増加しております。



車載エクステリア用LED

コンポーネツ事業

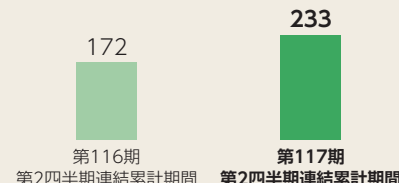
主な事業内容

- LED(紫外・可視光・赤外)
- 光センサー
- 液晶表示デバイス
- UV-CCL(紫外線冷陰極管)
- 超小形電球

他

売上高 **233億1千万円**

売上高の推移(単位: 億円)



当セグメント(主な製品: LED、液晶等)が関連する、車載市場、LED照明市場、及び遊技市場は増加し、AV家電市場は横ばいとなりました。

このような市場環境のもと、当社グループのコンポーネツ事業は、前会計累計期間から回復してまいりましたが、当会計期間において、半導体不足により自動車生産台数が減少した影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間におけるコンポーネツ事業の売上高は233億1千万円(前年同期比34.8%増)、営業利益は28億6千3百万円(前年同期比235.4%増)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は2千7百万円増加し、営業利益は1千3百万円増加しております。



複合機操作パネル
※写真提供: コニカミノルタ株式会社

電子応用製品事業

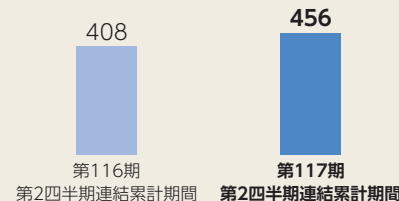
主な事業内容

- LED照明(景観・道路等)
- 操作パネル
- 液晶用バックライトユニット
- カメラ用ストロボ
- 車載用センサー
- UV除菌製品

他

売上高 **456億7千4百万円**

売上高の推移(単位: 億円)



当セグメント(主な製品: LED照明、液晶用バックライト、ストロボ、操作パネル、LED灯体の制御基板等)が関連する、車載インテリア市場、LED照明市場、OA市場、カメラ市場、及びPC・タブレット市場は増加となりました。

このような市場環境のもと、当社グループの電子応用製品事業は、前会計累計期間から回復してまいりましたが、液晶用バックライトはPC特需が落ち着いたため減少しました。加えてLED灯体の制御基板等は、当会計期間において、半導体不足により自動車生産台数が減少した影響を受けました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における電子応用製品事業の売上高は456億7千4百万円(前年同期比11.8%増)、営業利益は53億8千2百万円(前年同期比0.5%減)となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、売上高は3千1百万円増加し、営業利益は4百万円増加しております。

その他

売上高 **11億7千2百万円**

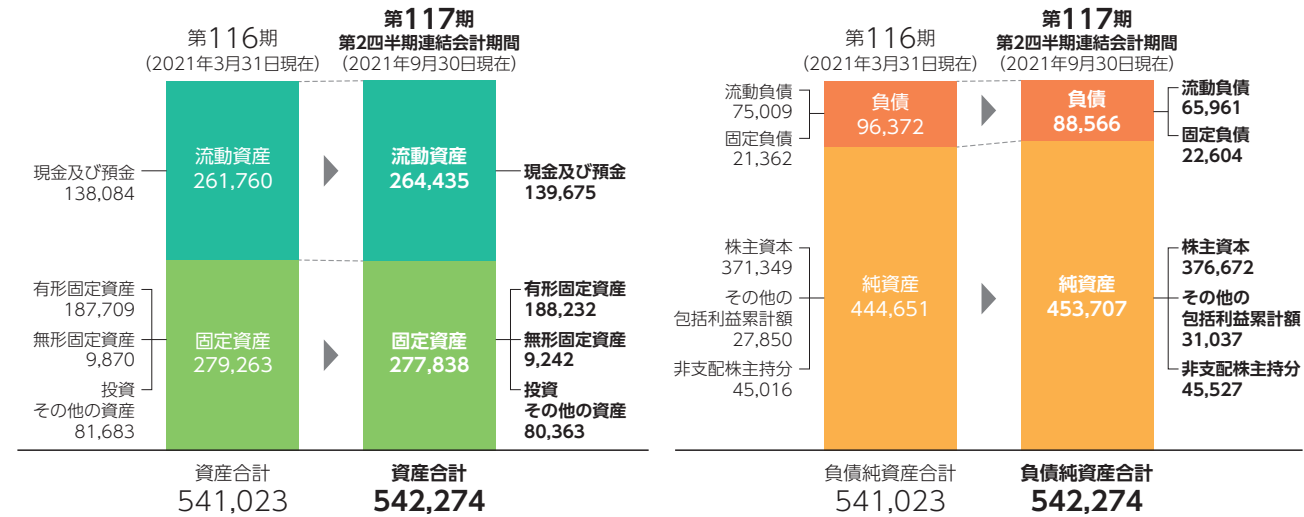
主な事業内容

- 身体障害者雇用促進事業
 - グループに対する金融・経営サービス
- 他

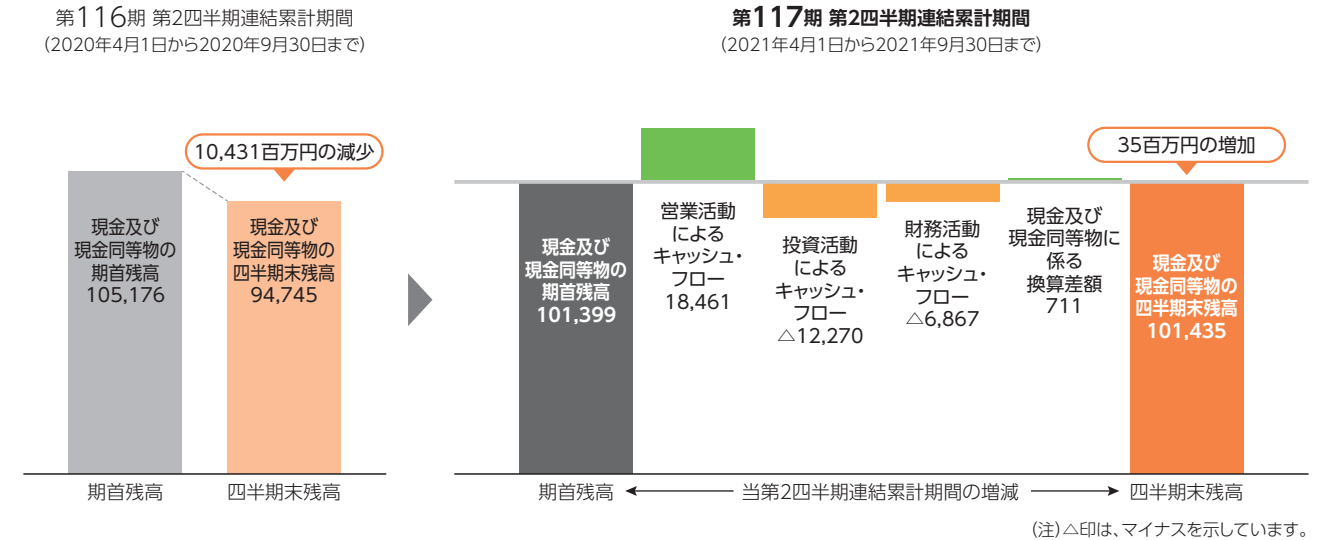
当第2四半期連結累計期間におけるその他の売上高は11億7千2百万円、営業利益は1千6百万円となりました。

連結決算概要

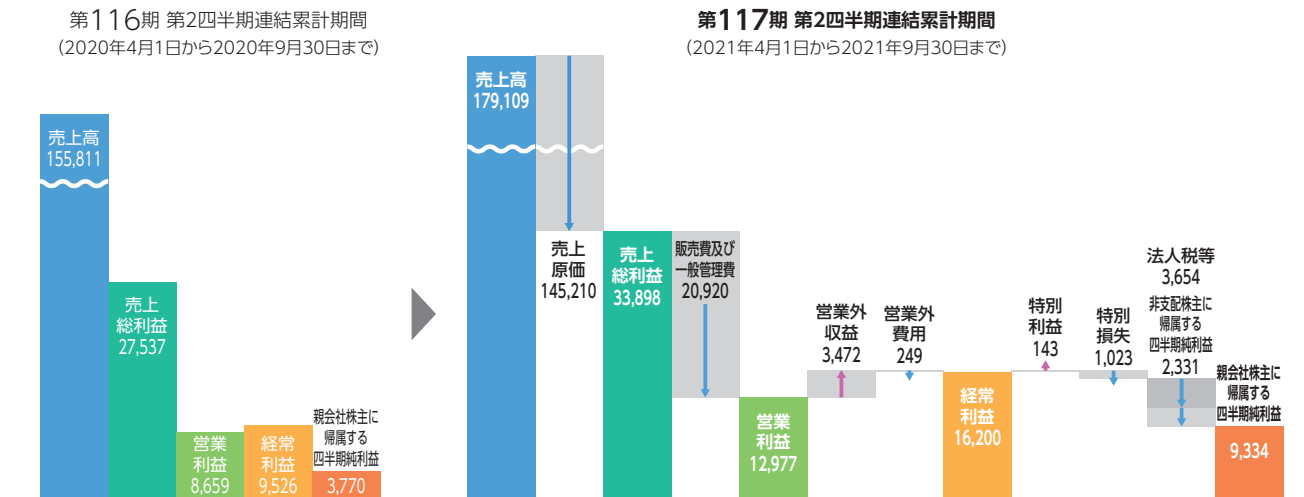
連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



連結の範囲

連結子会社	国内(8社)	株式会社スタンレー鶴岡製作所	他
海外(29社)	Stanley Electric U. S. Co., Inc.	I I Stanley Co., Inc.	Stanley Electric Holding of America, Inc.
	Stanley Electric do Brasil Ltda.	Stanley Electric Manufacturing Mexico S.A. de C.V.	天津斯坦雷電気有限公司
	天津斯坦雷電気科技有限公司	広州斯坦雷電気有限公司	斯坦雷電気(中国)投資有限公司
持分法適用会社	海外(3社)	Thai Stanley Electric Public Co., Ltd.	Hella-Stanley Holding Pty Ltd
		Lumax Industries Ltd.	

区分	第116期 第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日～2020年9月30日)	第117期 第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日～2021年9月30日)
連結子会社数	37社	37社
持分法適用会社数	3社	3社
合計	40社	40社

会社・役員の概要 (2021年9月30日現在)

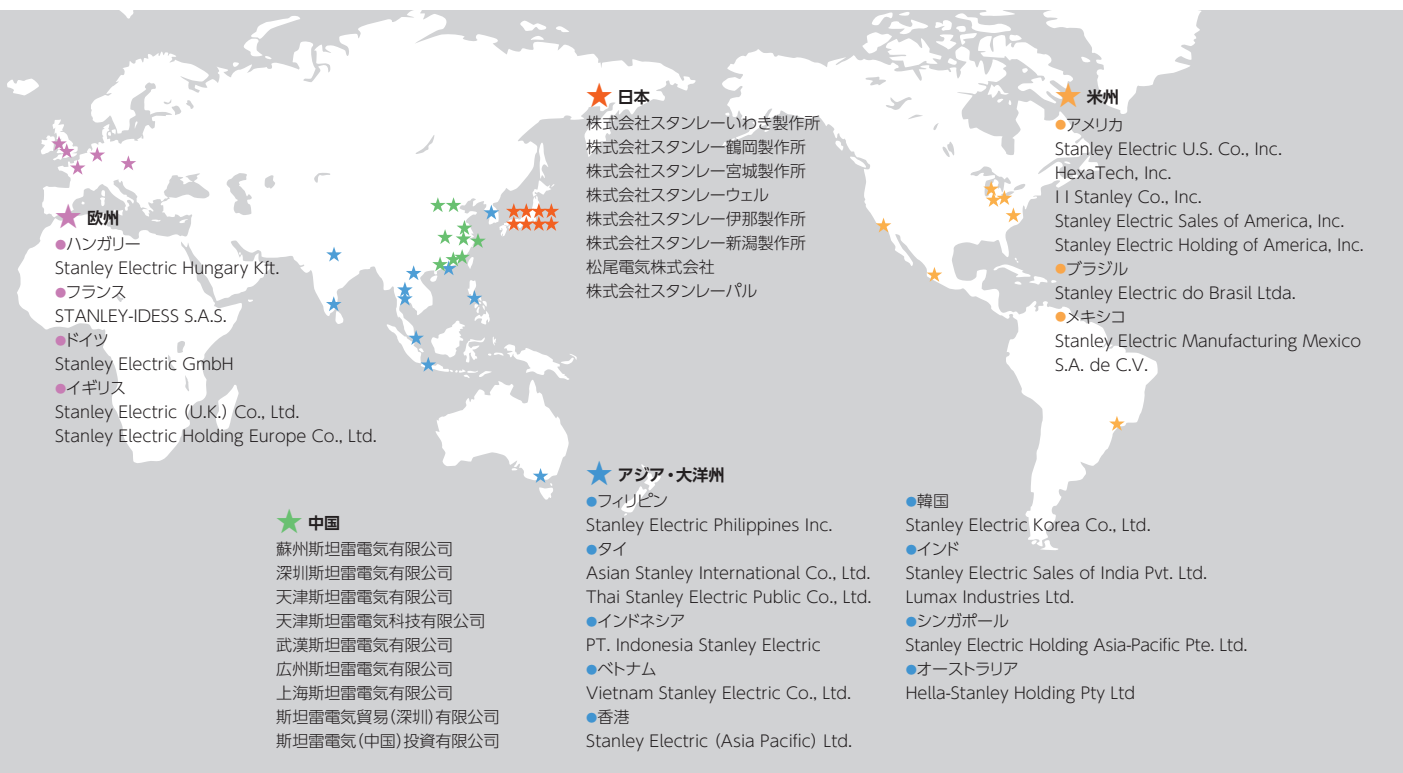
会社の概要

創業	1920年12月29日(大正9年)
設立	1933年 5月 5日(昭和8年)
資本金	30,514百万円
社員数	当社グループ 17,243人 当社 3,702人

事業所

本社	東京都目黒区中目黒2-9-13
研究所	技術研究所(横浜) 宇都宮技術センター 横浜技術センター オプトテクニカルセンター(横浜) みなとみらいテクニカルセンター 秦野テクニカルセンター
支店	大阪/名古屋
営業拠点	大宮/狭山/朝霞/鈴鹿
製作所工場等	秦野/岡崎/浜松/広島/山形

グループ会社



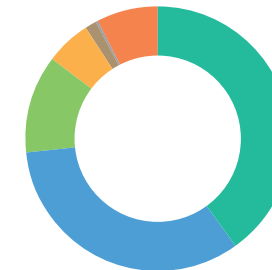
株式等の状況 (2021年9月30日現在)

株式の総数及び株主数

発行可能株式総数	750,000,000株
発行済株式の総数	173,400,000株
総株主数	9,343名

株式の所有者別割合

金融機関	40.15%
外国法人等	33.47%
その他の法人	11.87%
個人・その他	5.74%
金融商品取引業者	1.27%
政府・地方公共団体	0.11%
自己株式	7.39%



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,271	12.00
本田技研工業株式会社	9,235	5.75
株式会社三井住友銀行	8,017	4.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,656	4.77
日本生命保険相互会社	6,886	4.29
JP MORGAN CHASE BANK 385635	6,146	3.83
JP MORGAN CHASE BANK 380072	5,460	3.40
野村信託銀行株式会社(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	5,440	3.39
JP MORGAN CHASE BANK 385632	4,543	2.83
株式会社三菱UFJ銀行	2,582	1.61

(注1) 当社は、2021年9月30日現在自己株式を12,815千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
(注2) 持株比率は自己株式(12,815千株)を控除して計算しております。

中間配当

2021年10月26日開催の取締役会において、第117期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)中間配当金の支払について、下記のとおり決議いたしました。

(記)

当社定款の規定に基づき、2021年9月30日を基準日として、次のとおり第117期中間配当金を支払う。

1. 中間配当金 1株につき金25円
2. 効力発生日及び支払開始日 2021年11月30日(火曜日)

取締役・監査役

代表取締役社長	平塚 豊
代表取締役専務	田辺 徹
常務取締役	貝住 泰昭
取締役	米谷 光弘
取締役	上田 啓介
取締役	留岡 達明
社外取締役	森 正勝
社外取締役	河野 宏和
社外取締役	竹田 陽三

常勤監査役	山口 隆太
常勤監査役	下田 浩二
社外監査役	網谷 充弘
社外監査役	菅野 寛一
社外監査役	上平 光一

執行役員

松下 義嗣	二輪事業部長、アジア・大洋州事業担当
大木 聡	四輪第三事業部長
太田 智広	インテグレートッドコンポーネンツ事業部長
寒河江 正浩	電子営業担当
遠藤 利恵	事業管理担当
高野 一樹	四輪第一事業部長、特定顧客担当
北野 隆章	SNAP担当、Stanley Electric U. S. Co., Inc. 社長
角谷 克己	購買・ロジスティクス担当
三杉 光昭	光半導体事業部長
北條 哲也	四輪第二事業部長
安武 正廣	研究・開発担当
笹倉 賢	電子デバイス技術担当
桑田 郁夫	経理・財務担当
佐藤 敬久	品質担当、生産担当
岩瀬 雄介	照明応用事業部長
福本 勤文	国際担当
遠藤 雅夫	自動車技術担当
福永 圭介	ディスプレイデバイス事業部長
大島 直文	AD事業部長

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月	
	定時株主総会	3月31日
基準日	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。 公告掲載のホームページアドレス https://www.stanley.co.jp/ir/notice/	
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
単元株式数	100株	

株式に関する手続き

- 株主さまの住所・氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座(※)に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。

お問い合わせ先・郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 0120-232-711
(平日9:00~17:00・通話料無料)

お手續用紙請求 インターネットによるダウンロード
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

※ 株券電子化前に証券保管振替機構に預託されなかった株式につきましては、三菱UFJ信託銀行に開設いたしました特別口座に記録されております。

- 未受領の配当金のお支払請求につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。



表紙に使用 → 深紫外LED

除菌効果のあるスタンレーの光で、人々の生活に安全安心を提供してまいります。

STANLEY

スタンレー電気株式会社
STANLEY ELECTRIC CO., LTD.

〒153-8636 東京都目黒区中目黒2-9-13
TEL:03-6866-2222 FAX:03-6866-2678
URL:<https://www.stanley.co.jp/>